



こんにちは!!

やまがたむら 議会 です

風食被害対策の麦畑



令和7年 元旦

発行：長野県山形村議会（代表）大月民夫 編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

TEL0263-98-3111



令和6年度 第4回定例会

一般質問

7人の議員が村政課題など質問しました。

○新居 禎三

- ・いつまでも継続できる環境対策実行について
- ・交通弱者への対応について

○上條 倫司

- ・連絡班・公民館の組織の見直しを行なったが良い結果が出ているか

○春日 仁

- ・児童館事業について
- ・150周年事業について

○福澤 倫治

- ・大池原、東原地区の県宮畑地帯総合土地改良事業の排水路の今後の維持管理について
- ・複合施設建設のその後の進捗状況と今後の計画について

○大池 俊子

- ・山形村の子育て支援のさらなる充実を
- ・単身高齢者対策は

○三澤 一男

- ・複合施設の進捗は
- ・带状疱疹ワクチンの接種補助は

○小出 敏裕

- ・障がい者福祉の現状と今後
- ・地域猫との共生を

令和6年 第4回山形村議会定例会

令和6年第4回山形村議会定例会が12月10日開会し、18日まで9日間開催された。

令和6年度補正予算など26件、(陳情2件、承認1件、議案16件、追加議案7件)を審議し、陳情を採択し、全議案を可決した。

一般質問は7人が登壇し、11日に村政全般について質問を行なった。

主な議案の審議結果

	議案等内容	結果
陳情	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校に公費助成をお願いする陳情書 ・福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情 	採 択 〃
承認	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度山形村一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて 	承認
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・山形村職員条例の一部を改正する条例 ・山形村非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例等の一部を改正する条例 ・山形村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提出に関する条例の一部を改正する条例 ・清水高原交流宿泊施設の指定管理者の指定について ・山形村屋内運動場の指定管理者の指定について ・山形村清水高原テニスコートの指定管理者の指定について ・山形村清水高原ゴルフ練習場の指定管理者の指定について ・山形村清水高原山村広場施設の指定管理者の指定について ・山形村子ども医療給付金条例の一部を改正する条例 ・山形村母子家庭等医療給付金条例の一部を改正する条例 ・山形村重度心身障害者医療給付金条例の一部を改正する条例 ・令和6年度山形村一般会計補正予算(第6号) ・令和6年度山形村国民健康保険特別会計補正予算(第3号) ・令和6年度山形村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ・令和6年度山形村介護保険特別会計補正予算(第3号) ・令和6年度山形村清水高原簡易水道事業会計補正予算(第1号) 	可 決 〃 賛成多数 可 決 〃 〃 〃 〃 賛成多数 〃 〃 可 決 〃 〃 〃 〃
追加議案	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・山形村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・令和6年度山形村一般会計補正予算(第7号) ・令和6年度山形村介護保険特別会計補正予算(第4号) ・令和6年度山形村水道事業会計補正予算(第3号) 	可 決 〃 〃 〃 〃 〃 〃

☆今回の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、人事委員勧告に基づき2年連続の給与UPであるが、民間企業との差は、まだまだ大きいと感じた。☆

一般質問

議員7名が

村政を問う

一般質問は12月11日、議員7名が登壇、村政全般について質問を行なった。

CO₂を削減し安全な環境を守る対策は 村一人ひとりが積極的に取り組む課題



新居 禎三 議員

「ギ一株」が事業を開始すれば、CO₂削減はどのくらいになるのか。

Q

2050ゼロカーボンシティに向けた取組みの一環として、近隣市村等と設立した「松本平ゼロカーボンエネルギー



A

現状松本クリーンセンターで発電される余剰電力は年間24GWhで、全量この会社で買い取り供給した場合、CO₂削減量は9700トン。山形村への供給量は未定だが、保健福祉センターの電力を切り替えると推定260トンの削減が可能。

Q

温暖化の対策に関する計画策定状況は。

A

環境基本計画を策定した初年度であり、まだ具体的には進捗していないが庁内各課横断的に推進チームを組織していき細部の整備計画策定に向け進めているところ。

Q

家庭から出る可燃ゴミの削減は目標値に向け現状どのように進んでいるのか。

A

大型プラスチックの回収を始めたことにより令和5年度は減少しているが、引き続きゴミの減量化や再資源化を村民に呼びかけさらに減少できるように努めていきたい



回収された不用食器を資源としてリサイクル

い。

Q

2050ゼロカーボンに向けた、村民に対する喚起はどのように行なうのか。県内では42市町村が実質ゼロにする表明を行なっているが、村としては具体的なビジョンを検討・協議策定を行ない、計画にそってすすめるような体制を整えて「実質ゼロ」表明をできるように進めていきたい。

A

その他、路線バス利用者に対する運賃補助の今後を質問した。

発行責任者

議長 大月 民夫

議会広報編集特別委員会

委員長	上條 倫司
副委員長	新居 禎三
委員	小林 幸司
委員	福澤 倫治
委員	春日 仁
委員	大月 民夫

お詫びと訂正

議会だより第150号10ページ目「私の一言」において、古屋加代子様の地区表記に誤りがありました。つきましては、左記の通り訂正をさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

(誤) 下大池

(正) 小坂

連絡班・公民館の組織の見直しを行なったがよい結果が出ているか
村長 妙案が打ち出せない状況である



上 條 倫 司 議 員

Q 村としてこのよう
な連絡班でいくとい
うことが示されるのか。

A 連絡班には文書配
布の情報伝達、ごみ

集積の管理、防犯・防災活動の3点を村からお願しているところがある。地域にとって重要な情報を住民同士で共有し、清潔で住みよい環境をつくり、地域の防災力向上により誰もが安心・安全に過ごせるよう、連絡班の活動に期待している。

児童館の建て替えは
現状では難しいと考えている



春 日 仁 議 員

Q 児童館の運営を民間委託にすると報告を受けている。進捗状況は。

A 現在、山形村社会福祉協議会と業務委託に向けて協議を始めたところ。児童館運営委員会や保護者の皆様、現在お勤めいた

Q 村づくりとは何なのか。

A 公民館の生い立ちについてだが、大戦後の復興期に民主的な教育改革が急務の中で、昭和24年6月社会教育法が施行され、公民館の設置を目的として、20条には公民館は市町村その他一定地区の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とすると規定されている。山形村の公民館は翌年の昭和25年に設置され、青年会・婦人会・老人クラブなどと共に、戦後の社会教育発展に中心的な役割を果たしてきた。地域づくりとは、地域の住民の皆さんが主体となって自らの地域を発展させ、豊かで住みやすいコミュニティを形成する活動である。具体的には生活環境の改善、環境保護、地域の祭

だいている支援員さん等にもご意見をいただきながら進めていきたい。

Q 児童館は築30年が経過している。部屋数も多く、部屋ごとに支援員を配置するため支援員の確保や、死角もあるため安全面等が課題だ。

A 思い切った使い勝手の良い施設に建て替えてみてはどうか。

A 村の財政状況や、社会情勢の変化に伴う既存公共施設の今後の用途転換の在り方を踏まえると、新たな児童館施設を建設す

りや伝統文化の継承や発展などの事業を推進することだと思ふ。

住民の皆さんが、地域のコミュニティに主体的に関わり、意見を出し合い住民ニーズや要望が反映された持続可能な活動を行なうことが理想だと思ふ。

Q 運動会の開催の有無について。

A 続けるかどうかは公民館で判断するものだが、昨年度分館長会で検討したところ「動員型の運動会の開催は難しい」とのことから、昨年は「スポーツフェスティバル」としてニュースポーツの体験会を開催し、本年度は「ミニ運動会」として計画している。従然の大イベントとはいかないが、多世代で参加できるような持続可能なイベントを公民館で計画していただいている。

ることは、現状では難しいと考えている。

その他、開村150周年事業について質問した。



使い勝手が悪く建て替えが望まれる児童館

大池原・東原地区の県営畑地帯総合土地改良事業の排水路の今後の維持管理について

長 完了後の維持は受益者の皆さんが協力してこれを担って
村 いたたくという土地改良事業の大原則に則るべきと考える



福澤倫治 議員

Q 事業の概要について。

A 総事業費が14億5千万円・事業年度平成28年度～令和7年度・

水路兼用道路4千7百8m・排水路の設置延長が4千4百70m・受益面積百34haである。

Q 工事が完成したが、水兼道路の排水ができない箇所今後の対策について。

A 不具合が認められる、或いは修正が必要と思われる箇所は現段階で4～5箇所把握している。来年度の舗装の本復旧工事の折に、何らかの対策を講じる。

Q 排水路の今後の維持管理について。

A 今後畑かん組合等と協議をしていく。

複合施設建設のその後の進捗と今後の計画について

Q 複合施設の予算規模・建物規模・建設場所について。

A 実施計画のヒアリングの結果、建物面積1千8百㎡・予算規模13億5千万円・建設場所トレスン体育館北側のテニスコート。

Q 建設における工程等について。

A 令和8年秋ごろ建設工事の入札・令和9年度末竣工・オープンを目指す。

Q 建設に対する財源について。

A 県とも協議する中で緊急防災減災事業債と、地域活性化事業債の活用を予定している。

Q この複合施設の建設について、新村長に重点事業として引き継ぐか。

A 将来を見据え村全体の既存公共施設をどうしていくのかという検討の必要性を合わせて、重点事業として引き継ぎたい。



大雨の際十分に機能しない水兼道路排水口

単身高齢者対策は

村長 地域のつながりを育み醸成することが最も重要



大池俊子 議員

Q 人口減少と少子高齢化が進む地域社会

で、孤独や孤立を生まないうよう支え合う体制の整備が課題となる。敬老会

も中止となっている。再開やそれに替わる催しは。

A 核家族化と同様に単身高齢者は増加し、他人事ではない。行政だけでなく地域社会全体で見守ることが必要で、中でも地域のつながりを育み醸成することが最も重要である。

約130名の参加者が一堂に会して開催した村主催の敬老会は、コロナ禍の集団感染対策のため中止した。現在、地区ごとの敬老行事開催に向け、区長と話し合いながら意見集約を進めている。各地区の意向に対応できるように、開催費用の補助を考えている。

Q 開村150年の節目であり出発点でもあるので、敬老会を地区ごとに再開催することを村から働きかけができていますか。

A 区主催の敬老会は、あまり進んでいない。単身高齢者は221世帯が民生児童委員の見守りで、定期的に訪問、声かけ、相談、話し相手等の活動を日々続けている。必要な高齢者には、地域包括センターに連絡し、社会福祉協議会へつないでいる。

しかし、複数の人や組織が連携することが重要であるが、ご近所同士の地域のつながりが最も重要である。

その他、子どもの医療費完全無料化、育休退園の廃止について質問した。

複合施設の進捗は

令和9年度末竣工、オープンを目指す



三澤一男 議員

Q 村は、将来を見据えた複合施設の建設計画を進めているが、今後のスケジュール等、進め方は。

A 今年度プロポーザルを実施、3月上旬特定者決定、令和7年度基本設計、実施設計を行なう。令和8年秋ごろ建設工事の入札、令和9年度末竣工、オープンを目指し進めている。

Q 建設費等の予算措置について伺う。

A 課題であった財源については、近隣市村で調査し県とも協議し、予算規模13億5千万円として緊急防災減災事業債、地域活性化事業債をあて、残りは一般財源、公共施設整備基金等も考えながら進める。

Q 名称（愛称）などはどう考えているか。

A 今後設計業務、建設業務の進捗に合わせてしかるべき時期に公募などにより決定できればと思っている。
また建物の環境対策についてはプロポーザ

ルで公共施設における現在の基準を網羅できるレベルは確保したいが、予算との兼ね合いで可能な範囲で対応したい。

その他、帯状疱疹ワクチンの接種補助について質問した。



複合施設建設予定地のテニスコート

障がい者福祉の現状と今後

長 地域社会の共生を基本理念とする



小出敏裕 議員

Q 障がい者の相談体制は。

A 障がい者（児）の相談窓口は、保健福祉課と子育て支援課に設置している。専門的な相談が必要な場合は、基幹型・総合相談支援センター「ボイス」につないでいる。

Q 役場の障がい者雇用状況と今後の方針は。

A 令和6年度の雇用率は、役場・教育委員会と合わせて204%、人数では0.5人不足

Q 障がい者への合理的配慮の取組みは。

A 公共施設には、スロープ・多目的トイレや一部の部署にコミュニケーションの設置などの身体的配慮をしている。企業には、会議の場などを通じて、説明・資料配付などで合理的配慮の理解と協力を願っている。

Q 学校におけるバリアフリーの現状と課題は。

A 小学校では、身体的なバリアフリーは完了している。特別支援学級・のびのび

教室・LD等通級指導教室を設置して、インクルーシブな環境整備に努めているが、人材確保が課題となっている。

公共トイレの男子トイレにサニタリーボックスの設置を。

A 昨年度、一部の施設には設置している。その他の施設にも順次設置する予定である。

Q 「障害者優先調達法」の取組みは。

A 年度で策定している調達方針に則り、総務課・保健福祉課・教育政策課・保育園の4部署で行なっている。主な調達品は消耗品・入浴券の印刷・公共施設等の清掃など。

議会活動報告

10月28日

組合立鉢盛中学校の学習発表会に朝日村議員とともに出席しました。

発表会では「総合的な学習の時間」で少子高齢化に伴う研究と、山形村の児童館についての研究をした2つのグループから研究成果や提言の発表がありました。

11月22日

やまのこ保育園、園長・保護者会役員との意見交換会を行ないました。

組み立て式のプール、除雪の優先順位、保護者会の負担や現状課題、保育園運営課題等の意見交換が行なわれました。

今こそ、変革 議会DXと議会基本条例による議会変革のすすめ

朝日村・山形村議会研修

10月8日、朝日村議員と山形村議員合同で議員なり手不足など諸課題解決の一助になるように研修を行ないました。

総務省自治体アドバイザー・地方創生マネージャーとして全国の自治体を応援されている森亮二さんと地方行政・議員での経験を生かしてDXを推進するためにコンシェルジュとして活動されている後藤守江さんをお迎えして研修を行ないました。

従来は、地方議会の改革が求められてきたなか、これからは議会もそれぞれありたい姿を描き、社会の変化に対応してデジタル技術の応用・男女参画の推進など、多様な人材の議会への参画をうながすための環境整備を行ない、議会改革から議会変革へとシフトして議会基本条例を制定するなど、その過程で従来の議会活動そのものを見直していく必要があることなど、ご教授いただきました。
(新居 禎三)



子育て環境整備の事務調査

福祉文教常任委員会視察

11月8日、事務調査を松本市の2施設で行ないました。最初に、「子どもの主体性を育てる取り組み」について、社会福祉法人アルプス「認定こども園ふたご」で、主体性保育の取り組みを見聞しました。同園には、現在131人の園児が在園しています。

最近、子どもの主体性を大切にしたい保育が注目されているので、同園では非認知能力を伸ばすため「見守る保育」を実践していると話がありました。

次に、松本市インクルーシブセンターで「インクルーシブ教育の取り組み」の調査を行ないました。同センターは、共生社会を目指し、教育・福祉・医療連携による一体的支援を目的に設立された。ここでは、職員・外部専門職56人が、総合的支援を行なっています。

今回の視察では、子ども達の非認知能力を伸ばすための環境づくりが大切なこと、また、共生社会の実現には取巻く環境の整備や支援が大切なことを痛感しました。
(小出 敏裕)



議会は地方公共団体の最終的な意思決定機関です
住民の立場に立った審議を 一緒に尽くしましょう!!

山形村議会議員補欠選挙のお知らせ

任期満了に伴う山形村長選挙の執行に併せて、1名の欠員が生じている【山形村議会議員】の補欠選挙が下記のとおり実施されます。

告示日

令和7年2月11日（火曜日）

投票日

令和7年2月16日（日曜日）

投票箱

魅力ある村づくり

主役はあなたです

議会モニター募集中

村民の皆様の貴重な声を議会に届けてください。
あなたの応募をお待ちしています。



26	23	20	18	16	13	12	11	10	8	3	29	28	27	26	22	18	16	15	13	12	8	5	1	30	28	25	24			
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日		
山形村三団体懇談会	議会編集委員会	山形村観光協会 理事会	議会改革推進検討特別委員会	議会全員協議会	第4回山形村議会定例会閉会日	福祉文教常任委員会	議会議長常任委員会	山形市議会 第4回定例会開会日	山形村議会 第4回定例会開会日	山形村福祉の集い	山形村議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日
山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	山形市議会 第4回定例会開会日	

議会日誌

いろいろあったね区長の2年間

下大池区長 塩原徳雄さん



下大池区長を任せられ、もうすぐあつという間の2年間で過ぎようとしていきます。前任者の後をうけ次の区長に業務を引き継ぐという最低限の役割は何とか果たせているのかなとは、時々自戒することもありながらも、思う今日この頃です。

ただ、区が抱える重要な問題を市政に提言したものの、行政とともに解説策を見出していくという最も大切な点ではほとんど無力であったことに少なからず失意の念を抱いています。中でも最も懸念を抱いているのが自主防災会として災害時に区内全住民の安否確認をする必要があるにもかかわらず、連絡班未加入世帯は自主避難となり安否確認ができない状態になっていく点です。大災害による被害は防ぎようもないかもしれませんが、速やかに全世帯の安否確認をすることで防げる被害もあります。安否確認ができていれば防げた被害はもはや天災でなく人災といえます。

防災面だけではなく全村民のごみ収集を確実にこなうなど行政サービスの効率的提供のために村が作った全世帯加入の連絡班制度を再構築していただきたいと思います。常会活動と時に混同されて正しい理解がなかなか得られない中、連絡班制度を再構築するのには多大な努力と熱意を必要とすることは重々承知しています。その難題を解決するためにも村会議員の皆様、村長および村職員の皆様には再度事の重大性を認識していただき、不転の覚悟で早急に適切な制度設計をしていただくようこの場を借りましてあらためてお願い申し上げます。

後記…書き上げて改めて実感。村に要望を上げるだけの立場は儂いものだ。その点自ら手を上げ村政に参加されている議員の皆様には、その熱い思いを原動力に力強く村民のための行政を実現してくださいね。この2年いろいろあつてちよつと疲れたかな。個人的にはまだまだやりたいことはいっぱいありすぎるので明日に備えておやすみなさい。いずれにしても風は吹くもの。

ゴミステーションの管理運営の今後

中大池区長 上條利之さん



区長の会で、連絡班とゴミステーションの管理運営について、テーマとなったとき、中大池区のとを初めて知りました。

中大池区のゴミステーションの管理運営は、集積所3か所を、区つまり評議員12名と連絡長6名の役員が1週間単位に当番となって、清掃と残されたゴミ袋の始末等を行っています。ほかの区は連絡班ごとにゴミステーションが設置され、管理も連絡班ごとに行っているのだそうです。

役場のデータによると中大池区は集積所が3か所しか無く(村の区単位の平均か所数は13か所)、1か所当たり利用世帯は83世帯(村平均は42世帯)、1か所当たり利用人口は234人(村平均111人)が利用しているとのこと。要は、他地域とは異なり、区民全員の出された大量のゴミを当番1人で管理している仕組みとなっており、効率的な運営をしていると言えるでしょう。

集積所3か所へは区民ならば誰でもどこにでも出して良いこととなっており、かかる費用も区費の中から支出しています。

連絡班ごとの運営では、利用者の連絡班脱退、未加入者の取り扱いや費用負担問題など少人数での利用がゆえの問題が生じているのだそうです。

この点では、中大池区は理想的な運営をしていると思うのですが、評議員と連絡長の負担が重いという問題点があります。それは、前日にゴミ種別の告知看板の掲示、分別不良や無記名で残された年間69にもおよぶ収集袋の始末そして清掃、雪が降ればゴミステーション周りの雪かきなど大変です。中大池区はこの仕組みを継続していくには、役員に対しゴミ当番手当の制度化が必要だろうし、利用者の排出ルールの厳守、無記名出しだけは遠慮して欲しいと思います。

自分たちの住む地域は自分たちで良くしていく

下竹田区長 上條和夫さん



私が一昨年就任した下竹田区長の任期も今年3月で終わろうとしています。振り返れば就任後の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、通常の活動ができなくなるようになりました。コロナ禍を経ての再活動というところで、下竹田区の各団体長・参与で下竹田区運営委員会を設置し運営について話し合うこととしました。その中から下竹田区・分館・育成会の会費を減額し、それぞれに年2回集めていた会費を年1回評議員会開催時に集めることや、各団体で配布していた印刷物は連絡班長を通じて村の配布物と一緒に配布することで役員の負担を軽減しました。そして分館の組織改革についても分館から提起され進めることができました。また長年懸案だった薬王寺跡地問題については、薬王寺検討委員会(旧世話人会)から下竹田区に管理を移管し、春と秋の環境整備の日を整備することとし薬王寺検討委員会は解散しました。

私はこの2年間「自分たちの住む地域は自分たちで良くしていく」という考えのもとに活動してきました。最後に支えていただいた土田代理・上條会計はじめ、ご協力くださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。